

情's people

vol.36

TAKE FREE



illustration by keiko

CONTENTS

おでかけ ☆ めがねちゃん

第2回 芸艸堂さん、こんにちは！

～まだまだ現役の木版本たち～



情's コラム「なんのために本を読むのか？」
情's selection
ちょっと！あんたら！これ、へえーやで！
情報館数珠つなぎ
パンダパンの絵本のへや
情's 四コマ劇場

他

おでかけ★めがねちゃん



第2回 芸艸堂さんこんにちは！～まだまだ現役の木版本たち～

版元・芸艸堂

今回は、寺町二条にある『芸艸堂（うんそうどう）』にお邪魔しています。お話を伺うのは早光昭子さんです。今日はよろしくをお願いします。

「よろしくをお願いします」

昔はこの版木がいわゆる版權だったんです。版權というのは著作権みたいなものですね。一冊の本をつくるために版を起こすのはかなりの労力やお金がかかることなんです。ですから昔の版元は資本力のある人がやっていました。上手にやらないと、そうそう利益が出るものではないんですよ。再版してやっと利益が出せるようなものなんです。版木＝資本という時代でしたので、蔵に版木が山ほど積んであるというのは、資本の山を抱えているという状態だったわけです。」

めがね☆メモ ①



芸艸堂は明治期に創業した「版元」だと伺いましたが、版元とはどういう意味ですか？

「版元とは、今で言う出版社のようなものですね。芸艸堂は1891年に創業した木版本の版元です。文字通り、木版画で印刷された本を現在も出版しています。」

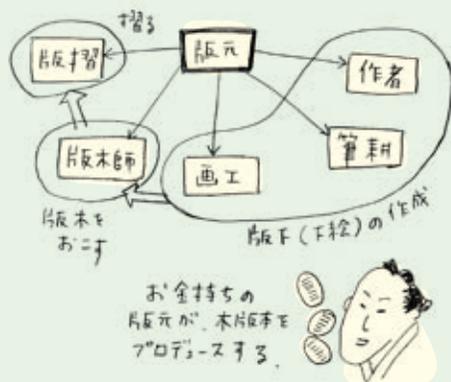
芸艸堂は着物や工芸等のデザインに役立ちそうな図案本を中心に、たくさんのお木版を世に送り出してきました。今で言うと、最新の流行デザインが掲載されているファッション紙のもっと高価な物といった感じです。カラー印刷では木版の上を行く技術がありませんでした。あまり知られていませんが、日本の木版技術は素晴らしいもので、海外でも高く評価されているんですよ。

木版印刷をするためには、木を彫って「版」を作らなければいけませんよね？版元がその版を作り、所有していたんです。うちも明治の創業以来ずっと店の奥にある蔵に版木をたくさん保管しています。

なるほどー！今はデータ印刷で大量生産が当たり前になっていますが、昔はもっとうずと印刷が大変な時代だったんですね。蔵に版を持つってとてもアナログ！考えてみれば当然だけど、なんだかびっくりです。版は具体的にはどんな風に作られているんですか？

「まずは版元が「こういう本を作ろう」と、企画して、みんなに号令をかけるわけです。例えば、物語の本を作るとすると、まずは文章を考える作者にオーダーを出しますよね。そして、挿絵が必要ななら画工（絵師）に描いてもらいます。物語ができれば、文字を書く筆耕に注文を出す。これで版下、つまり、下絵が出来上がります。次に、それを版木師（彫師）に彫ってもらえば版木が完成します。あとは版摺（摺り師）に摺ってもらって、製本所で製本してもらえば商品として売ることができると。」

めがね☆メモ ②





版元はプロデューサーであり、アートディレクターであり、販売者であるわけです。その頃の京都はカルチャーの発信地でしたから、出版も盛んで、徒歩圏内にたくさんの職人さんがいたんですよ。

現代でも同じように様々な工程が分業されていますが、今機械でやるような工程を、昔は人の手でやっていましたね。もっとも芸艸堂では現在も木版本を出版していますので、ほとんどが手作業による工程となりますが…。出版社というと、情報通信という分野になるんですが、芸艸堂のような出版社ではどちらかというと製造業、ものをつくるほうに重点を置いているといえます。」

木版画の美

ここまでお話をうかがったところで、いよいよ木版本を見せていただきます。よろしくお願ひします。こちらの本は、触っても大丈夫ですか？

「はい。丁寧に扱っていただければ大丈夫ですよ。是非、手に取ってご覧になってください。」



とにかく、色がきれい！構図もが、いい！！

うわー！！！こ、これは！きれいですね…。こんな発色はちょっと見たことがないです。それに、デザインもかっこいいですね。洗練の極みというか…。

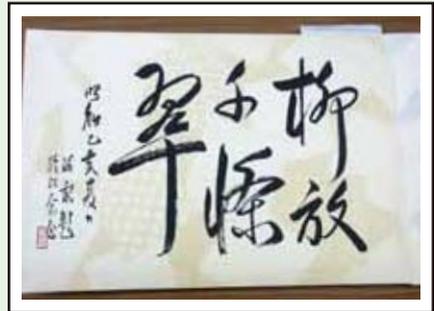
「木版本は発色がすごくいいんです。デザインも新しいでしょ？今見ても全然古くない。こういう図案は、過去のものではなく、常にリアルタイムのものであっていいものだと思うんですよ。だから私たちは現在も木版本を出版し続けているんです。こんなに素晴らしいものがあるんだということをみんなに知ってもらいたいですね。」

素敵なお話です。木版本と聞くと、博物館の中の話と聞か、もう過去のもので、私たちに手の届かない美術品になってしまっているような印象を漠然と持っていたのですが…。現在でもそれを進行形で作っていることにもびっくりですし、それを手に取って感動できるのが嬉しいです！

「確かに、こうした木版本が博物館等でガラスケースに展示されているのを見かけたりしますが、そうした状況の中で見ると、実際に手に取って見るのとでは全然印象が違ってしまう？やはり、“本”として手に取られることを前提に作られていますから、その距離で見るとが一番美しく感じられるんです。

さらに、手に取れば、印刷の質感や和紙の手触り、本の重みを感じることができますから、木版本は是非、手に取って見ていただきたいですね。

では、蔵へ行って、版木を見てみましょう！」



これ、筆じゃなくて版画なんだってー！

めがね☆メモ ⑤

Q. 一枚の版画を仕上げるのに、何回くらい練習を重ねるの？

A. 平均的な作品では40回、99回ものでは100回以上！！

★ 基本は一色につき一版だけど、中には900回以上のその版で色を練習重ねたり、は"か"しつけたりするらしい。

④ 1版木10枚・版数19版・7習り度数30度





蔵の中は所狭しと版木が並んでいて独特の雰囲気…



うわっ!!なんか空気が違う!なんでしょうこの、圧倒的な存在感。物体が並んでるだけと言えばそうなんですけど…。何でしょう、感動的です。

「明治時代に彫られたものが多いですが、中には江戸時代に彫られたものもあります。傷みの防止のために版木に巻いてある新聞紙が明治のものだったりしますから。ものすごい量なんで、どこに何があるかをすべて把握しきれてないですよ…(笑)。そうして昔に作られた版でも、摺ってしまえば今出版できますからね。板の調整は必要になるとは思いますが、ここの版木はまだまだ現役で、みんな今か今かと出番を待ってるんですよ。」

鳥肌が立ってしまいました…。この蔵の中のエネルギーの正体はここで眠っている版木たちのエネルギーだったんですね。教科書でしか知らないような時代からずっと、いつでも役目を果たせるようににスタンバイしてるなんて、すごすぎます!

「最近では、神坂雪佳という作家の『海路』を再版しました。明治に初版が発行されてから85年ぶりのことです、仕上がりまでは大変な道のりでしたが、本当に素晴らしい本になって、今年の造本装幀コンクールに入賞しました。日本の、しかも京都に、昔からずっと、こんなに素晴らしいものがあつたし、今もあるんだということを、とにかく、まずは知ってもらいたいですね。」



手をかけて、身体を動かして物を作るってとても重みがあるよね。木版本の持つてる威厳というか、オーラみたいなものはそこから来てるに違いない!と、めがねちゃんは感じました。みんなにも是非、この感動を味わってほしいな。そしてこれからもずっと大事にしていきたいよね。



情報館で手に取れる木版本

今回訪ねた芸艸堂の本は、情報館にたくさんあります。手に取って見られるのももちろん、中には貸出可能なものもありますので、是非利用してみてくださいね！OPACの詳細検索で、「出版社」の項目に「芸艸堂」と記入して検索すると資料が見つかるよ。ここにめがねちゃんのオススメをいくつかご紹介します。



『海路』 神坂雪佳著 芸艸堂
3F 閲覧室 727||Ka 38 禁帯出



『蝶千種』 神坂雪佳著 芸艸堂
B1F 書庫 727||Ka 38 貴重書

他にもたくさんあります

※ 芸艸堂は木版以外の本も出版しています。(情報館にもたくさん所蔵があるよ)

『華山画譜 上・下』	渡辺華山著	芸艸堂	3F 閲覧室	721.7 W 46	一般図書
『寿々 1巻・2巻・別冊』	山内神斧著	芸艸堂	3F 閲覧室	759.9 Y 39	一般図書
『紋様の巻(花詩集:1-3)』	河原崎巽堂著	芸艸堂	3F 閲覧室	727 Ka 96	禁帯出
『草花百種 上・下』	幸野煤嶺著	山田芸艸堂	3F 閲覧室	721.9 Ko 76	禁帯出
『こうりん模様 上・下』	古谷紅麟編輯	芸艸堂	3F 閲覧室	727 F 95	禁帯出
『西洋草花図譜』	谷上広南編	芸艸堂	3F 閲覧室	627 Ta 87	禁帯出
『草花略画式』	蕙齋先生著	美術圖書發售所 / 芸艸堂	3F 閲覧室	721.6 Ku 95	禁帯出
『装幀図案集 第1集』	津田青楓著	芸艸堂	B1F 書庫	022.57 Ts 34	貴重書
『櫻花圖譜 1・2』	三好學著	芸艸堂	B1F 書庫	479.75 Mi 91	貴重書

禁帯出について

貸出区分が「禁帯出」の資料は、3F 閲覧室の禁帯出コーナーにあります。貸出はできませんが自由に閲覧できます。

貴重書について

貸出区分が「貴重書」の資料を閲覧したいときは2F 図書カウンターまでお越し下さい。貸出はできませんが閲覧できます。



芸艸堂

京都市中京区寺町通二条南入
電話：075-231-3613

京都市営地下鉄東西線
「京都市役所前」駅より徒歩5分

<営業時間>

9:00~17:30 (土・日・祝祭日定休)



情'sコラム

「なんのために本を読むのか？」

画箋堂 京都精華大学店 御守 克幸

中学のとき、塾の先生にそう聞かれた。

それは、僕ひとりではなく、その場にいたクラスに対しての質問だった。何故と言われても、そんな事考えたことがなかったから、かなり悩んだ。順番に何人かが答えて、僕もなにかしらそれらしい返事をしたんじゃないかと思う。でも、残念な事に自分がなんと答えたのか記憶していない。

学習塾と言う体ではあったけれど、僕が通っていたその塾はかなり風変わりな内容だった。6,7人のクラスが一学年にひとつ、しかも中学生のみ。先生は一人きりで全ての教科を教えていた。山の中腹にポツンとある、先生の自宅の離れのような建物を教室に使っていて、庭にはピーターと言う名前のクジャクと雑種の犬（名前は忘れた。マグロのさしみが好物で、ちらつかせるとものすごい勢いですっ飛んで来てのしかかられた）がいた。あと、姿は見えなかったけどニワトリも何羽かいたような気がする。（徹夜でマージャンした明け方に鳴いていた。僕はその時、「ドラマチックやな〜」と言いながらニヤニヤしている先生にドラを振り込んで、まんまとラスをひいたので覚えている）その人はカウンセリングが本業（副業？おそらく塾からの収入の方が多かったと思う）で、東京で開かれる臨床心理学の集まりにもよく出かけていた。一度、「この町にはカウンセリングが必要な人が少ないなあ」と洩らしていた。そりゃ、こんなさびれた漁師町で、みなさん生活するのに精一杯だから仕方ないよな、と僕は中学生なりに思ったりした。生徒の送り迎えにミドリ色のタウンエースを使っていて、夏休みにはそのクルマで毎年キャンプに出掛けた。山の中や河原や海岸のそばで勝手に野営していたので、地元の小学生に自衛隊か？と尋ねられたこともあった。（そうだと言って敬礼の真似をしたら、質問責めにされた）その旅には、必ず本を2冊持って来るようにと言われたことを思い出す。でも、残念な事に僕は自分が持って行った本を何一つ思い出せない。（旅の途中で本を読んだ記憶もない）食事の支度や野外活動以外で覚えているのは、移動中にカーステレオで何本かのカセットテープを飽きもせず聞いていたこと。僕たちはビートルズのラバーソウルがお気に入り、ノーウェアマンをみんなでハモったりしていたっけ。

その先生は答えのない質問が好きで、折に触れて様々な質問を中学生たちにしていた。ほとんどは忘れてしまったけど（忘れてる事が多いなあ）、覚えている質問もある。「次に生まれ変わるとしたら、男と女どっちがいいか」「君は高校の入学試験会場へ向かう途中で、次の電車に乗らないと確実に遅刻する。駅の手前の踏切内でおばあさんが線路に足を挟まれて動けなくなっている。助けていたら、電車に乗り遅れそう。君はどうする」「木の皮の半分は北風を知らない」という言葉の意味は」etc.

僕らは先生を（書いていて思い出した。先生と呼ぶなと言われて〇〇さんと名前前で呼んでいた）少なからず尊敬していたので、自我が生えかかった頭で懸命に考えていた。

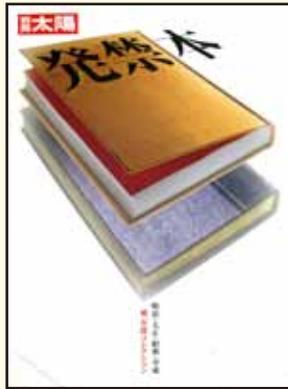
最初の質問にしどろもどろで答えた僕に、「君は言葉にして説明することができないけれど、僕は君が本を読む理由がわかる。君にとって読書は必要な事だよ」と先生は言った。けれど、僕がその言葉の意味するところを理解したのは、もっとずっと後になってからだった。

情's SELECTION

情報館スタッフが
NDC の分類ごとに情報館資料を
セレクトするコーナーです。



000 総記



『城市郎コレクション』

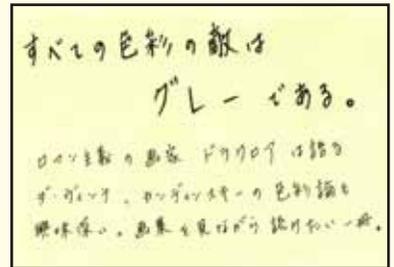
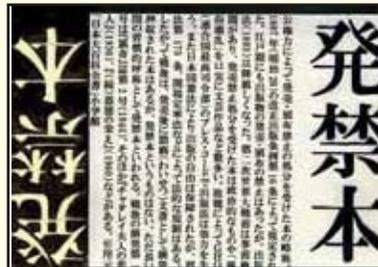
米沢嘉博構成 平凡社
3F 閲覧室 023.8||H 17||1

100 哲学



『ビレン色彩心理学と色彩療法』

フェイバー・ビレン著；佐藤邦夫訳 青娥書房
3F 閲覧室 141.26||B 46



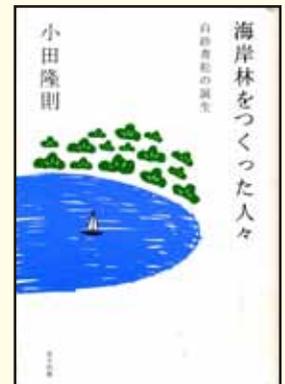
500 技術



『タワー：内藤多仲と三塔物語』

INAX 出版
3F 閲覧室 526.54||Ta 97

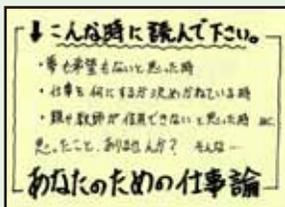
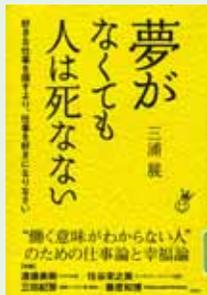
600 産業



『海岸林をつくった人々：白砂青松の誕生』

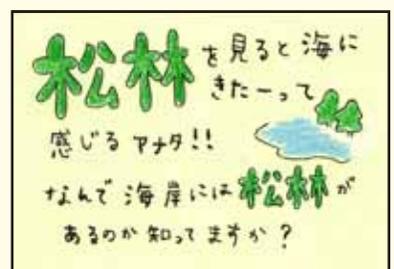
小田隆則著 北斗出版
3F 閲覧室 656.55||O 17

PICK UP ! 就活コーナー



『夢がなくても人は死なない』

三浦展著 宝島社
3F 閲覧室 就活コーナー
366.04||Mi 67



ちょっと! あんたら!

これ、へえ—— / やで!



みんな気付いてないかもしれないけど、情報館にはこんなにもおもしろい資料があるんです。
知らなきゃ損損! 「へえー…。そうなんだー。見てみたい!」と思ったあなたは情報館へGO!

外見と中身の

今回の、へえ—— / な資料のテーマは、「ギャップ」です。



編集長 F

えー、今回は、
レファレンスなどを担当している
Hさんにお越しいただきました。
とっても可愛いHさんが
紹介して下さる『ギャップ』本…
楽しみでたまりませんね。
本日はよろしくお願いします。

表紙は地味だけど、
開いてみたら中は素敵!
っていう本が好きなんです。
開いてみないと
わからないので、
探すのが大変でした…。
よろしくお願いします。



ゲストHさん

close



『京菓子講座』
製菓実験社編 製菓実験社, 1958
情報館所蔵:
3F 伝統工芸・産業資料室 (TIC) 588.36||Se 17

open



「これはTICの資料です。きれいですね。」
「様々な和菓子の解説や、その製法が掲載されていますね。
あ、俳句の解説もあります。この俳句を表現するような
和菓子も作られていますね。おもしろいです。」
「いかにも京都らしい資料ですね。」
※TIC…3F 閲覧室の奥にある伝統工芸・産業資料室のこと。

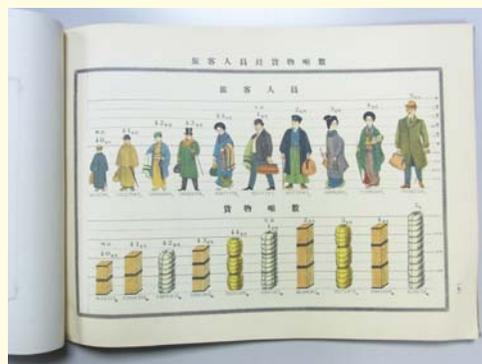
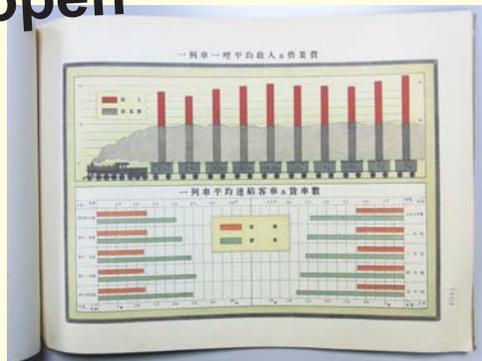
close



『鐵道統計要覽』鐵道院 [編]
交通統計研究所, 1985
情報館所蔵: 3F 閲覧室 686.62||Te 86

「タイトルの通り、これは鉄道の統計資料です。」
「パラパラめくっただけで楽しいなんて…。統計資料なのに。絵師のプライドが見えますよね。ただの数字を発表するために、どれだけ自分の技術を入れ込めるか！という…。しかも、これを今で言う国土交通省が発行しているというのがすごい。昔の人は洒落てますねー！」

open



close



『タカラ・リカちゃん (デザインの解剖 :3)』
佐藤卓著 美術出版社, 2002.7
情報館所蔵: 3F 閲覧室 501.8||Sa 85||3

「デザインの解剖というシリーズのうち、これはリカちゃんを扱ったものですね。」
「あ、佐藤卓さんの本ですね。『解剖』という名にふさわしく、細部まで細かく観察・分析されています。理系っぽい感じというか、この真面目なビジュアルがおもしろいですね。」

open



close



『印刷京都』 京都府印刷紙工業協同組合, 1952
情報館所蔵: B1F 書庫 749.21||Ky6

open



「おおー！！これは何ですか！？年季の入ったいろんな印刷サンプルがたくさん貼付けられています！」

「この本は京都府印刷紙工業協同組合結成3周年を記念して作成されました。出版年は1952年です。おそらく、その組合員が手がけたさまざまな印刷物が集まっているんでしょう。『もっと京都の印刷を盛り上げたい！』という熱い想いが詰まった1冊です。」

「当時の百貨店のラベルシールやタグに包装紙、証券会社の帳簿、あ、数式の組版例なんかもありますね！巻末には京都の印刷会社の広告も掲載されています。」

そして、『京都の印刷会を如何にして発展させるか』という座談会も興味深いですね。60年近くたった今、当時の状況はもちろん、当時の人が考えていた印刷の未来像がどんなものだったのかを知って比較してみるのもおもしろいです。」

「この本を見て、改めて、印刷物は時代を反映するものだなあと感じました。ですから、印刷好きの人はもちろん、歴史が好きな人や、京都が好きな人にもこの本をおすすめします。」

へえ



いかがでしたか？いやー、本は開いてみないとわからないものですねえ…。みなさんも是非、情報館で「ギャップ本」を探してみてください！次回もお楽しみに～。

本日のゲスト



池田 弘一 さん

(メディアセンタースタッフ)

情報館 数珠つなぎ

スタッフインタビュー「情報館数珠つなぎ」のお時間がやってまいりました。情報館で働いている様々なスタッフの話から、どんな人やどんな仕事か私たちの情報館を支えているのかを知っていただけたら嬉しいです。それではインタビュースタート！（インタビュー：福山賜）

どんなお仕事をされているのか教えてください。

メディアセンターってけっこういろんなことをやってるんですけど、僕がやってるのはメディアラボ（情報館のPCルーム）の運営と、学生さんのサポートと、あとは、機材の貸出などですね。メディアセンターのサービス部門担当といったところです。あとは、映像が専門なので、学生さん向けの撮影とか編集のレクチャーもやってたりします。

最近の学生はパソコンをバリバリ使いこなしているんですか？

うーん…まあ、割と、使える子が多いですね。ただ、自己流でやっている子も多いので、例えば映像編集なんかで「こうすればもっとスマートにできるよ。やり直しがしやすいよ。」といったようなアドバイスはしています。

私の中で、池田さんは何でも知っているイメージがあるんですけど、普段からいろいろ見て勉強されたりしてるんですか？

勉強ってわけではないですけど…。

情報収集？

そうですね…まあ……ハイテクオタク、みたいな。

(笑) ハイテクオタク！？

家電芸人じゃないですけど…その手の感じです。コンピューターよりは撮影用のカメラとか機材とかのニュースを割とチェックしていて、『こういうのが情報館にあつたらいいなあ…』とか、考えてますね。まあ、なかなか購入できませんけど。

そうですかー。ところで、メディアセンターのアルバイトは何人くらいいるんですか？

25人とか…それくらい。メインで入ってくれてるのは15人くらいかな。

仕事は分担されてるんですか？

メディアセンターのアルバイトは、カウンターで受付をしたり、利用者のサポートをしたりするサービス部門と、イベント等の撮影や編集を行う制作部門に分かれていますね。両方やりたいという子もたくさんいますけども…。

学生のときからそんなアルバイトができたうらやましいですね。これから情報館でやってみたいことはありますか？

僕、できるなら情報館の床のカーペットを全部替えたいですね。

カーペットですか！？なぜですか？

地べたに座れないじゃないですか。例えば、夏休みになるたびに思うんですけど、2Fの大型モニター前のスペースを広く空けて、子供やお母さんたちを呼び込んで、『デジタル紙芝居』的なイベントをやってくれたらいいのって…。

いや、やってくださいよ！（笑）デジタル紙芝居って、そういうのがあるんですか？

ないですけど…。例えば、大型モニターとパソコンをつないで、自作の紙芝居を作って、図書のお姉さんがそういうのを読みながら…。

公共図書館の、ちょっとハイテク版ってことですね（笑）

そうそう、ハイテク要素は盛り込みつつ…（笑）

いいですね。コミュニティスペースでは今、月に一度リーディングラボを行っていますが、他にもいい活用方法があれば、どんどん開放していきたいですね。

今日はどうもありがとうございました！

パンダパンの絵本のへや

情報館 スタッフ パンダパン が おすすめの絵本をご紹介します!!

今回のおすすめ



『トゥートとパドル
なんてったってせかいいち』
ホリー・ホビー作 BL出版
情報館所蔵：3F 絵本 726.5||| 35

あらすじ

なかよしのトゥートとパドル。ある朝「すぐ帰るよ」のメモを残してトゥートはいなくなっていました。心配になったパドルはトゥートをさがして森の中へ…そして汽車へのり、バスにのり飛行機にのってトゥートを探す冒険に出ます。

ここに胸キュン♡



パズル

情報館では「トゥートとパドル」シリーズはここの「クイズ」コーナーにまとめて紹介があります。

おすすめ度

トゥートとパドルのイタコらしぶりにきゅんしちゃいます。でも、トゥートのようにふらりといなくなっちゃったら大変です。



情's 掲示板

情報館からのお知らせ & ご報告

情報館リーディングラボ開催!

- 10月26日(火) 18:00 ~
ゲスト: 藤谷治 (小説家)
- 11月30日(火) 18:00 ~
ゲスト: 松浦弥太郎 (暮しの手帖編集長)
- 12月21日(火) 18:00 ~
ゲスト: 穂村弘 (歌人)

入場料無料・申込不要です。
是非お越し下さい!



返却ポストの閉鎖

期間: 10月30日(土) 18:00 ~
11月4日(木) 9:00

木野祭のため、返却ポストを閉鎖いたします。

木野祭・入試時の閉館について

閉館期間: 11月1日(月) ~ 11月4日(木)

※ 木野祭開催に伴い、情報館を閉館します。

閉館期間: 11月11日(木) ~ 11月13日(土)

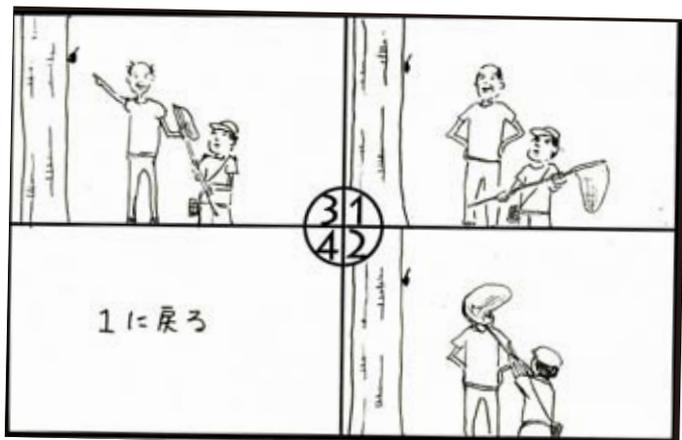
※ 入試に伴う休校のため、情報館を閉館します。

ご理解とご協力をお願いいたします。

ギャラリーフロールにて、 展覧会開催中!

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.kyoto.seika.ac.jp/fleur>



「虫とり」
トム・作

コメント：
癒されますよね。これを見た人は笑うというより
微笑んでいるのではないのでしょうか。

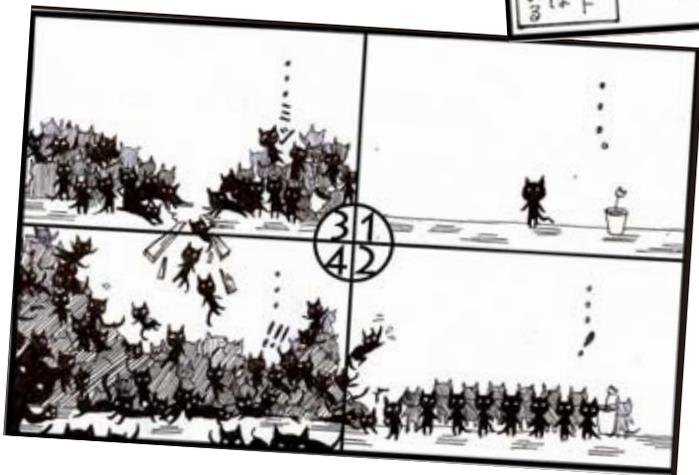
「マリー・アントワネット」
農民・ウォー～なめんなよ～・作

コメント：
ぶ。そりゃあ伝説になるわな。
しかし、マリーさんムキムキっすね。



「ねこなだれ」
H.K.・作

コメント：
与えられたフォーマットを使って
おもしろいことをしようとしている意欲が
感じられます。(偉そうなことを言ってしまった…)



編集長より

今回はいつもより応募数もぐんと多く、力作揃いだったため、審査がものすごく大変でした。他にもたくさんおもしろい作品があったのに…！というわけで、これまでの全応募作品を小冊子にしました。情報館などで配布中です！見てね！

告知 『ザ・ベスト・オブ 情's 四コマ選手権』 開催！ まだまだ作品大募集～！！

期間中に応募されてきた四コマ漫画のすべてを情報館に展示し、利用者の投票で一番おもしろいものを決定する選手権を開催します。最優秀作品はオリジナルTシャツにしてプレゼントします！また、応募作品は情報館入口モニターで上映されるほか、優秀作品は情報館の広報誌「情's people」に掲載され、その中でも、編集長賞に輝いた方には粗品をプレゼントします。

募集期間：2010年6月7日(月)～2010年12月24日(金) (※投票は2011年1月の予定です)

応募方法：情報館で配布している所定の応募用紙に必要事項を記入の上、2F図書カウンターの専用ポストに投函してください

応募資格：本学の学生であること(1人何点でも応募できます)

from

KYOTO 便り



情報館
公式ブログ

2010.9.27 UP!

日記 POP コンテスト募集始まりました!

第四回 POP コンテストの募集が、本日から始まりました!

情報館入ってすぐの場所に、応募用紙や製作ポイント等の書類が置いてあります。目印はこのポスターですよ!



過去の作品も展示されています。どんな作品が入賞しているのか、じっくり観察してみるもよし! です。



今年も参加賞がありますよ。ポストカードやブックカバー、包装紙等、多用途に使える紙のセットです。色もきれいでなかなかかわいいです。応募してくれた方全員にプレゼント!



さらに、告知の通り、今回の優秀作品は四条の大垣書店に置かれます。

紹介した資料が絶版でも大丈夫! 関連書籍が用意されるようです。

情報館にある、あなたの大好きな資料を紹介してくださいね。

個人的には、すごいレアなチョイスなんかでびっくりさせてくれると嬉しいです。

楽しみにしていますよー!

2010.9.30 UP!

日記 第5回情報館リーディングラボ開催しました

後期最初のリーディングラボはストーリーマンガコースの佐川俊彦先生をお迎えしました。

「マンガ的なものが好き」と語る佐川先生のセレクトは、ヤン・シュヴァンクマイエルのアートアニメにはじまり、当時の付録もそのまま複製されているのが面白い鉄腕アトム復刻大全集、見ればなるほど! 「せんとくん」の生みの親である藪内佐斗司の作品集、それから、「実写ではむずかしいけれどマンガという形をとったからこそ描ける」イランの今の生活や内情を描いたアニメーション『ペルセポリス』の原作『イランの少女マルジ』などなど。

ざくざく情報館から掘り出していただきました。

佐川先生曰く、「情報館は宝の山、見つけたもの勝ちですよ。」

とはいえ、多すぎてなんだか選びにくい、ゆえ探しに行く前にあきらめちゃう、という気持ちもわかっていらして、「最初から全部読むのは絶対無理、と思えば気が楽かな?」というお言葉も。先生の「これ面白そう」という探究心と愛情あふれる好奇心を感じた90分でした。

本の話とははずれますが、途中さらっとおっしゃった、「マンガがうまくなるには、淹に打たれても、インドにいてもうまくはならない。ただひたすらに描くこと。」

という言葉に、マンガに無縁の私までもドキッ。思わず居住まいを正しました。



佐川先生、島本先生ありがとうございました。

紹介資料は情報館 2F 図書カウンターの前に蔵出ししています。

是非手にとってみてくださいね。

今回参加できなかった人は、まずは佐川先生の著書『漫画力』を CHECK!

2010.10.1 UP!

日記 LIFE with ART-受けとめ、そして、渡す人-

ただいまギャラリーフールで、「LIFE with ART-受けとめ、そして、渡す人-」展が開催されています。

本展覧会は、個人と集団の記憶の交錯に関してのさまざまな様相に焦点をあてる展覧会で、2008年から2010年の二年間にわたり、キングストン大学(ロンドン)と京都精華大学(京都)を中心に、芸術や人文学に携わるさまざまな人々が領域を横断して展開する、「介入の芸術共同研究プロジェクト」の一つです。

情報館でも、2008年からシンポジウムを行っています。

今月23日まで開催していますので、みなさまぜひお越しくださいね。

続きはWEBで!

<情報館HP> <http://johokan.kyoto-seika.ac.jp>



こちらのバナーをクリック!

情's people vol.36 (2010.10.25 発行)

次号の発行は12月の予定です。お楽しみに!

発行元: 京都精華大学情報館 情's people 編集部
発行責任者: 井上千佐 編集責任者: 福山 賜
編集スタッフ: 前田 祐子・喜多 孝子

